

全東京写真連盟
撮影会写真コンクール
入賞作品集



審査対象 水の広場公園モデル撮影会

撮影日 2021年03月28日

審査日 2021年05月05日

審査員: HARUKI 先生



金賞
「遠くへ」
鵜飼 典彦 様
モデル 杏 凜

審査員：HARUKI先生 講評

王道のポートレート撮影会というよりは、長い間、森の中を探し求めながら彷徨っていたらようやく妖精に出会うことが出来た時、こちらに気付く前の一瞬にシャッター切ったようなネイチャーフォトぽい自然美と力強さを感じました。画面左手にある木の葉の大きな前ボケと彼女の目線がそれを効果的に作用させています。杞憂すべきは画面に「前ボケ」をやたら入れれば良いというものではありませんので、そこはご注意くださいね（笑）。効果となる場合と逆効果になる場合もありますので、悩んだ時には両方撮ってみてからPCで見比べてみましょう。



銀賞
「桜の花とキミと」
高橋 敏之 様
モデル BUN

審査員:HARUKI先生 講評

桜の季節の花曇り&小雨模様だったのでしょうか。濃い緑、薄い緑の混じった新緑の中に咲く桜の花、白く霞んだようなパステル画のような空気に季節感を感じますね。明るい望遠ズームレンズの75mmあたりの焦点距離、モデルのファッションがうまく融合したカットです。傘の切り撮り方も気持ちよいですねえ。

“適材適所“という言葉がありますが撮影会ではレンズ画角、絞り値、アングルポジションなどの撮影技術的要素も大切ですが、シチュエーションに合ったモデル選びというのもまたカメラマンが見極めなければならない能力の一つでもあります。



銅賞
「笑顔」
石川 玲 様
モデル りん

審査員：HARUKI先生 講評

ビニール傘を持ち雨の中をたたずむモデルさんの表情が素敵です！！撮影会で雨は降って欲しくないものですが、降ってしまった以上は敵である雨さえ利用して味方に付けましょう。質量や勢いにもよりますがだいたい1/500秒よりも速いシャッタースピードで止まりますので雨を写し込んでしまいましょう。大粒の雨が落ちる中でもレンズに向かって爽やかな笑顔を見せてくれる明るい表情の写真には勇気づけられる思いがあります。降り止まない雨は無いというメッセージとして受け止めました。コロナ禍の今ですが前向きにいくしかありません。みなさん頑張りましょう☆



入選
「雨の桜の下で」
五島 隆夫 様
モデル 吉村 もか



入選
「かしこい女性」
斎藤 貴生 様
モデル 敦賀 あいり



入選
「過ぎる春とともに」
高橋 壯太 様
モデル 彩



入選
「想い」
内藤 勝之 様
モデル 高畠祈莉



入選
「想い」
米沢 健二 様
モデル 沖村 彩花



佳作
「花一輪」
荒井 秀雄 様
モデル 高畠祈莉



佳作
「紅を差す」
生田 文夫 様
モデル BUN



佳作
「赤のライン」
谷川 朗 様
モデル BUN



佳作
「ひとり」
寺島 弘行 様
モデル 沖村 彩花



佳作
「見つめる眼差し」
中山 静男 様
モデル 杏 凜



佳作
「乙女の肖像」
中山 昌幸 様
モデル 高畠祈莉



佳作
「舞台」
日向野 遼平 様
モデル 夏山 りか



佳作
「レトロな感じ」
深野 武雄 様
モデル 敦賀 あいり



佳作
「艶やかに、爽やかに」
松岡 達雄 様
モデル BUN



佳作
「雨の木立の中で」
横塚 英夫 様
モデル 吉村 もか



次点
「さわやかな日」
大村 勇二 様
モデル 夏山 りか



次点
「春風」
小倉 良二 様
モデル 吉村 もか



次点
「さくら・さくら」
小野寺 基之 様
モデル 夏山 りか



次点
「彩花の想い」
岸 寿生 様
モデル 沖村 彩花



次点
「風に誘われて」
猿田 善和 様
モデル 夏山 りか



次点
「花いっぱいのは春です」
菅原 道久 様
モデル 夏山 りか



次点
「雨中の美人」
堤 博史 様
モデル 高畠祈莉



次点
「春を愛でる」
矢島 彰 様
モデル 夏山 りか



次点
「傘の中でのポーズ」
山本 和也 様
モデル 高畠祈莉



次点
「心を」
横川 哲夫 様
モデル 夏山 りか

今年の新人モデルさんたち、頑張ってくれた様子を拝見しまして安心しました。フレッシュな感じを保ちつつも、この後も積極的に頑張って頂けたら良いですね！！

それと、少しだけうれしいお知らせです。

以前から口を酸っぱくして何度も云って参りました「美しいプリント」を作っての作品応募ですが、数年経ってようやく徐々にですが良くなってきたかのように思います。合格ラインが以前は全体の半分程度だったとしたら最近では8割方が合格といった感じでしょうか。

でもまだ問題もあります（笑）。残りの2割のプリンタについては基本的なこととして必ずテストプリントをして画像チェックをしてください。画面に余計な線が出ていませんか？霞んでいたりしませんか？色がおかしくなっていませんか？用紙設定は大丈夫ですか？これらの原因はたいていはプリンタ設定などで直りますのでギャップ調整やプリンタヘッドのクリーニングなどもお忘れなく。

そして気になるのはデータ作りでの過度なコントラストや彩度の上げすぎです。天候が悪い場合にやや彩度を上げて整えとか夕陽を強調するために彩度を強くするというのはアリですが、それ以外の場面でコントラストや彩度、色味などは触りすぎると現実離れしたものとなってしまいます。それらは基本的なデフォルトでは動かす必要の無いものですので、あくまでも補足的に使用するか効果的な目的時にお使いになって下さい。

せっかくがんばって撮影した作品ですから最終形態のプリントまで美しい仕上げにしてくださいね☆

2021年・5月 HARUKI